

2021年1月19日  
オンコリスバイオファーマ株式会社  
<http://www.oncolys.com>  
(証券コード:4588 東証マザーズ)

各位

米国臨床腫瘍学会消化器癌シンポジウムにおいて  
テロメライシン (OBP-301) と化学放射線療法併用 Phase 1  
医師主導治験の Protokol 概要に関する発表のお知らせ

当社は、2021年1月15日(金)～17日(日)にバーチャル形式で開催される「米国臨床腫瘍学会消化器がんシンポジウム (Gastrointestinal Cancers Symposium : ASCO GI 2021)」において、米国 NRG オンコロジーによる医師主導治験の Protokol 概要の最新情報が発表されたので、お知らせします。

学会発表の概要は、下記のとおりです。

プログラム : ポスターセッション (食道がん/胃がん)

抄録番号 : TPS262

発表者 : Geoffrey Yuyat Ku, MD 他 (NRG Oncology)

発表タイトル :

NRG Oncology NRG-GI007 trial-in-progress: Phase I study of OBP-301 (Telomelysin) and definitive chemoradiation (CRT) for patients with locally advanced esophageal and gastroesophageal adenocarcinoma who are not candidates for surgery.

(手術不能な食道または胃食道接合部がんを対象としたテロメライシンと化学放射線療法を併用した Phase 1 臨床試験)

試験内容 :

本試験は、米国の食道がんに対する標準治療である化学放射線療法に、テロメライシンを上乗せした臨床試験です。第1ステージ、第2ステージの2段階で構成され、12名(最大21名)の患者様に投与が行われる予定です。第1ステージでは、安全性の確認を目的に6名の患者様へ投与が行われます。さらに第1ステージで安全性が確認された後に第2ステージへ移行し、有効性の検討を目的に9例の患者様に投与が行われます。

テロメライシンの投与量は、日本と同じ  $1 \times 10^{12}$  VP/ml の用量で、2週間毎に1回の計3回内視鏡にて直接がん細胞に投与されます。また、併用療法としては、米国の食道がんに対する標準治療である化学放射線療法が実施されます。

※米国臨床腫瘍学会消化器癌シンポジウム HP: <https://meetings.asco.org/gi/attend>

以上

<本件に関するお問い合わせ>

オンコリスバイオファーマ株式会社 財務部

TEL : 03-5472-1578 (代表)

E-mail : [oncolys\\_information@oncolys.com](mailto:oncolys_information@oncolys.com)